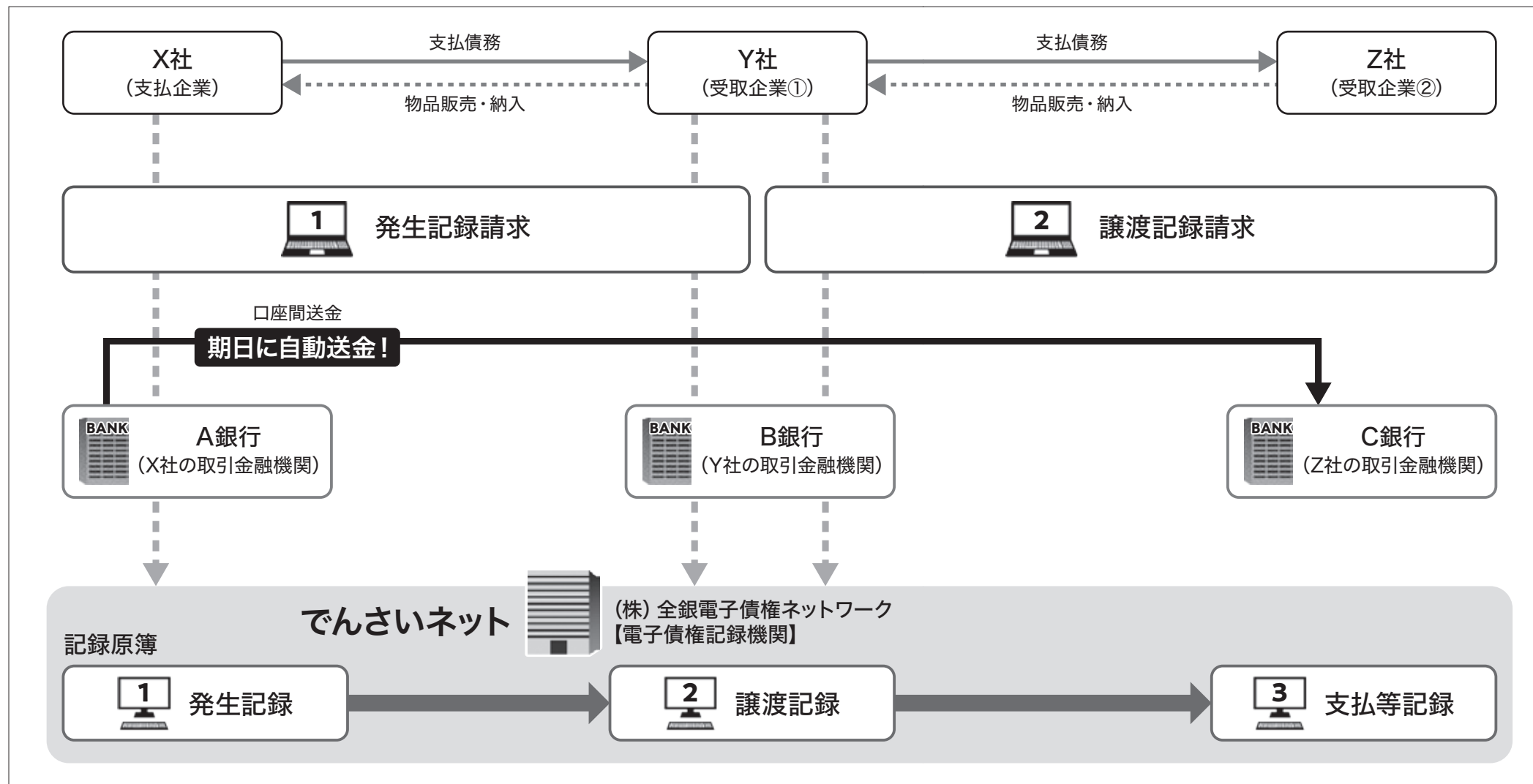


●でんさいネットの取引イメージ



(出所) 編集部作成

図 解

でんさいネットの取引イメージ

でんさいネットの仕組みとでんさいの発生、分割、譲渡、支払いといった各取引の概要を解説する。

で ンさいネットの仕組みをお客様に説明する際には、まず手形になぞらえて大枠を把握してもらおうとよい。図表のように基本的な取引イメージ図を用いると、理解を得やすいだろう。ここでは、各でんさい取引の流れについて解説する。

①発生記録請求

この図表でいえば、手形を振り出す側がX社、受け取る側がY社となる。でんさいネット上のポイントの一つは、双方の企業のデータは、各々の取引金融機関経由で授受されるということだ。

例えば、X社が額面500万円の手形ならぬ電子記録債権を振り出した、すなわち「発生させた」とすると、このデータはX社とA銀行、Y社とB銀行の四者間で共有されることになる。そして、支払期日においても、A銀行からB銀行に決済資金が自動的に

に送金されることになっている。

②譲渡記録請求

もう一つの主要機能は、手形の「裏書譲渡」に相当する「譲渡記録請求」である。図表でいえば、Y社がZ社に対して電子記録債権を譲渡している。

この場合も、Y社とZ社の間にそれぞれの取引銀行であるB銀行・C銀行を経由して、譲渡に係るデータ送信と共有がなされる。そして、譲渡代金の決済はA銀行・C銀行間の口座間でやり取りされる。

以上の説明を踏まえて、でんさいネットにおける用語として、「手形を振り出すこと」「電子記録債権を発生させること」「発生記録」、同様に「裏書譲渡」「譲渡記録」「支払期日の決済」「支払等記録」であるということをお客様に押さえてもらおう。